

# 泉大津市公共施設適正配置基本方針 (公共施設の現状と今後の基本的な考え方)

2014 年（平成 26 年）12 月

泉 大 津 市



# 目 次

## 序章 公共施設適正配置基本方針について

1. はじめに	1
2. 本方針における公共施設の定義	2
3. 本方針の構成	3

## 第一章 本市の概況

1. 本市の人口特性、人口動態等	4
(1) 人口・世帯動向	4
(2) 年齢別構成人口及び家族類型別構成割合	5
(3) 住宅数及び自治会加入率	7
2. 地域の特性及び特色	8
3. 将来推計人口 ー平成 52 年の推計人口を基礎としてー	18
(1) 本市の推計人口予測	18
(2) 地区別の推計人口予測	19
(3) 児童数・生徒数の推計	20

## 第二章 本市の財政状況

1. 本市の財政状況	21
(1) 歳入状況	21
(2) 歳出状況	22
(3) 健全化判断比率の推移	23
(4) 経常収支比率の推移	24
2. 投資的経費の状況	25

## 第三章 公共施設の状況

1. 保有する公共施設の状況	26
(1) 公共施設の配置状況	26
(2) 用途別の延べ床面積の割合	27
(3) これまでの公共施設整備量	28
(4) 地区別の公共施設の保有状況	29
(5) 利用料金収入（施設利用料、保育料等）と運営コスト	31
(6) 将来整備費用の試算	32
2. 公共施設全体に対する市民意向	34
(1) 公共施設の利用状況【市民・利用者アンケート】	35
(2) 移動手段【利用者アンケート】	35
(3) 公共施設の満足度【市民・利用者アンケート】	36
(4) 管理運営費について【市民・利用者アンケート】	38
(5) 使用料基準【市民・利用者アンケート】	38
(6) 今後の公共施設整備【市民・利用者アンケート】	39
(7) 削減する施設【市民・利用者アンケート】	39
(8) 今後の公共施設の取り組み【市民・利用者アンケート】	40
3. 各施設に対する市民意向	41
(1) 公共施設の利用状況【市民アンケート】	41
(2) 本市の人口規模から見た施設数【市民アンケート】	42
(3) 施設を減らす場合減らしてもよいと考える施設【市民アンケート】	43
(4) 移動手段【利用者アンケート】	44
(5) 利用頻度【利用者アンケート】	45

## 第四章 課題の整理

1. 現状分析に当って .....	46
2. 人口に関する分析 .....	47
3. 財政に関する分析 .....	48
4. 公共施設全体に関する分析 .....	49
5. 市民ニーズに関する分析 .....	50
6. 用途別施設に関する分析 .....	51
(1) 全市施設 .....	52
(2) 地域施設 .....	61

## 第五章 公共施設適正配置の基本方針

1. 公共施設適正配置に向けた基本的な考え方 .....	66
2. 公共施設適正配置に向けた基本方針体系図 .....	67
3. 公共施設適正配置の全体方針 .....	69
4. 用途別施設の適正配置方針 .....	77
(1) 階層分類施設の検討指針 .....	77
(2) 小分類別施設の適正配置方針 .....	78

## 資料編 用途別施設の状況

1. 全市施設及び地域施設の状況の見方 .....	82
2. 全市施設の状況 .....	87
2-1. 学校教育施設【全市施設】 .....	88
2-2. 生涯学習施設等【全市施設】 .....	93
2-3. 保健福祉施設【全市施設】 .....	123
2-4. 市民環境施設【全市施設】 .....	140
2-5. 市営住宅【全市施設】 .....	147
2-6. 庁舎等【全市施設】 .....	153
2-7. その他【全市施設】 .....	160
3. 地域施設の状況 .....	174
3-1. 学校教育施設【地域施設】 .....	175
3-2. 保健福祉施設【地域施設】 .....	190
3-3. 公園施設【地域施設】 .....	206
3-4. その他【地域施設】 .....	214

## 序章

# 公共施設適正配置基本方針について

1. はじめに
2. 本方針における公共施設の定義
3. 本方針の構成



# 1. はじめに

## (1) 本市を取り巻く状況

本市は、大阪都心部から電車で20分(約20km)の距離にあり、平坦で小さな市域であることから、徒歩や自転車で移動しやすいまちとなっています。また、交通利便性の高さを活かした住宅開発が進められています。

一方、少子高齢化の進展に伴い、市税を中心とする歳入の伸びは見込み難い中で、歳出では扶助費が増加する傾向が続いており、本市の財政状況は、依然として厳しい状況にあります。さらに、都市化の進行や核家族化、ライフスタイルの多様化が進む中で、地域社会における住民同士の関わり方についても変化しつつあります。

## (2) 公共施設に関する現状

公共施設は公共サービスを提供する場として、また、市民の様々な活動を支える場として、機能してきました。

しかしながら、本市の公共施設の多くは、建築後30年以上経過し老朽化が進行しています。そのため、施設のバリアフリー化や市民ニーズの変化に対応できていないことや、経年劣化による老朽化の進行により施設の維持管理費用が増大しつつあることなど様々な課題が生じています。さらに、今後集中的に建替えの時期を迎えることとなり、大きな財政負担となることが予測されます。

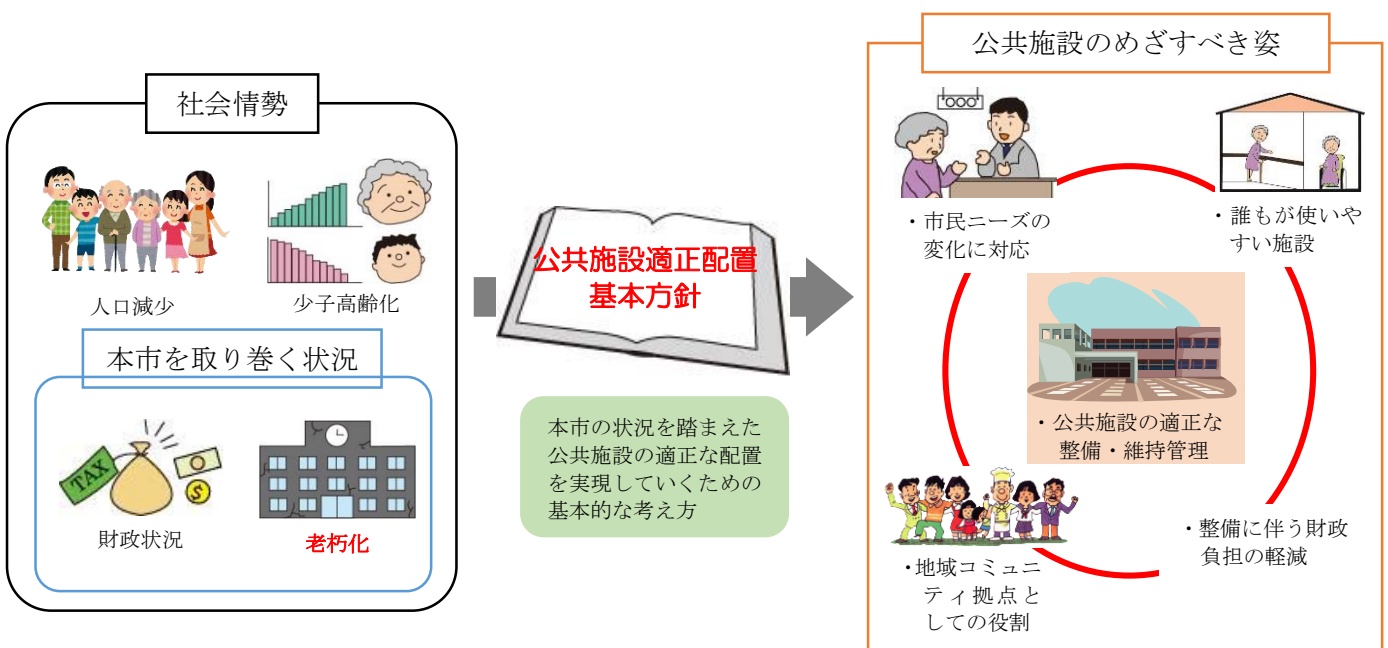
## (3) 公共施設のめざすべき姿

今後、人口減少と少子高齢化のさらなる進展が予測される中、住民福祉の向上、増進を目的とする公共施設の役割は、さらに重要性を増しています。

そのため、これからの本市の公共施設は、変化する市民ニーズに対応し、質の高い公共サービスを効率よく提供するとともに、誰もが利用しやすい施設として整備・維持管理を図っていかねばなりません。

## (4) 基本方針の策定について

こうした本市の状況を踏まえ、公共施設の適正な配置を実現していくためには、その置かれた現状を明らかにするとともに、真に必要なサービスを見極めていく必要があります。ここに示す、泉大津市公共施設適正配置基本方針は、そうした本市の今後の基本的な考え方を示す方針として策定するものです。



## 2. 本方針における公共施設の定義

### (1) 対象施設

平成 25 年 4 月 1 日時点で本市が保有する施設及び PFI 事業で運営している施設、計 98 施設を対象とします。

なお、公営企業関連施設<sup>※1</sup>、インフラ・プラント系関連施設<sup>※2</sup>については対象外とします。

対象施設については、下表の通り分類します。

※1 公営企業関連施設は、地方公共団体が、設置経営する企業関連施設を指す。(本市では上水道及び病院関連施設等)

※2 インフラ系施設は、道路、橋りょう、下水道施設等を指し、プラント系施設は、ごみ処理施設、し尿処理施設等を指す。

表 0.2.1 本方針の対象となる公共施設一覧

(平成 25 年 4 月 1 日時点)

大分類	小分類	施設名
学校教育施設	幼稚園	戎幼稚園、旭幼稚園、穴師幼稚園、上條幼稚園、浜幼稚園、条東幼稚園、条南幼稚園、楠幼稚園
	小学校	旭小学校、穴師小学校、上條小学校、浜小学校、条東小学校、条南小学校、楠小学校、戎小学校
	中学校	東陽中学校、誠風中学校、小津中学校
	教育支援センター	教育支援センター
生涯学習施設等	公民館	南公民館、北公民館
	生涯学習施設	市民会館、男女共同参画交流サロン、図書館、勤労青少年ホーム、文化財収蔵庫、池上曾根弥生学習館、織編館
	スポーツ・レクリエーション施設	総合体育館
保健福祉施設	児童福祉施設	子育て支援ルーム、宇多保育所、上条保育所、浜保育所、戎保育所、条東保育所、要保育所、くすのき保育所 <sup>※</sup>
	高齢福祉施設	総合福祉センター、高齢者保健・福祉支援センター（ベルセンター）、穴師長寿園、浜長寿園、条東長寿園、戎長寿園、板原長寿園、助松長寿園、松之浜長寿園、東港長寿園、宇多長寿園、旭長寿園、条南長寿園、東助松長寿園、北豊中長寿園
	保健施設	保健センター
市民環境施設	墓地等	忠霊塔、公園墓地管理棟
	火葬場	市営火葬場（ゆうしお）
公園施設	公園施設	下記の公園内の建物 （東雲公園、助松公園、畦田公園、古池公園、穴師公園、三十合池公園、東港公園、上之町公園、板原 1 号公園）
市営住宅	市営住宅	寿市営住宅、河原町市営住宅、汐見町市営住宅、二田市営住宅、虫取市営住宅、助松市営住宅、春日町住宅、河原町住宅
庁舎等	庁舎・事務所	市役所、職員会館、土木課分室・倉庫、環境課分室
	消防署・出張所	消防庁舎、消防出張所、化学消火薬剤備蓄倉庫（消防団車庫）
その他	公衆便所	中央公衆便所
	駐車場	泉大津市立駐車場
	その他	泉大津市自転車保管場所、地域安全センター、あすと松之浜（市所有床）、あすと松之浜（あすとホール(PFI 事業)）、旧清掃作業現場事務所、テクスピア大阪、東雲町自治会館、宮公民館、春日町第二自治会館、西港町自治会館、ふれあい会館、おてんのう会館、泉大津駅西地区まちづくり事務所、松之浜駅周辺地区まちづくり事務所、北助松駅周辺地区まちづくり事務所

※くすのき保育所は、平成 25 年 6 月開所



### 3. 本方針の構成

<b>第一章 本市の概況</b>	<b>【4 頁】</b>
<b>1. 本市の人口特性、人口動態等</b> 本市のこれまでの人口・世帯動向、年齢別人口構成及び家族類型別構成割合、住宅数と自治会加入率について整理しています。	
<b>2. 地域の特性及び特色</b> 小学校地区別に地区概要や人口、高齢化率等、地域特性及び特色を整理しています。	
<b>3. 将来推計人口 —平成 52 年の推計人口を基礎として—</b> 本市の平成 52 年までの推計人口予測を全市、小学校地区別に予測しています。また、小学校地区ごとに年少人口の推計人口を算出し、各小学校の学級数を推計しています。	
<b>第二章 本市の財政状況</b>	<b>【21 頁】</b>
<b>1. 本市の財政状況</b> 本市のこれまでの歳入歳出状況や健全化判断比率、経常収支比率の推移について整理しています。	
<b>2. 投資的経費の状況</b> 直近 10 年間の投資的経費の推移を整理しています。	
<b>第三章 公共施設の状況</b>	<b>【26 頁】</b>
<b>1. 保有する公共施設の状況</b> 本市の公共施設の状況を用途別、小学校地区別に整理し、各施設にかかる収支についてまとめています。また、既存施設を同じ規模、同じ構造で建替えた場合の将来整備費用を試算しています。	
<b>2. 公共施設全体に対する市民意向</b> 市民及び公共施設利用者に対して行ったアンケート調査のうち、公共施設に関連する結果についてまとめています。	
<b>3. 各施設に対する市民意向</b> 市民及び公共施設利用者に対して行ったアンケート調査のうち、個別の施設に関連する結果についてまとめています。	
<b>第四章 課題の整理</b>	<b>【46 頁】</b>
<b>1. 現状分析に当って</b> これまでに示した、第一章から第三章及び【資料編】用途別施設の状況をふまえ、公共施設適正配置に向けた課題の整理の流れを示します。	
<b>2. 人口に関する分析</b> 人口に関する分析から公共施設適正配置に向けた課題を整理します。	
<b>3. 財政に関する分析</b> 財政に関する分析から公共施設適正配置に向けた課題を整理します。	
<b>4. 公共施設全体に関する分析</b> 公共施設全体に関する分析から公共施設適正配置に向けた課題を整理します。	
<b>5. 市民ニーズに関する分析</b> 市民ニーズに関する分析から公共施設適正配置に向けた課題を整理します。	
<b>6. 用途別施設に関する分析</b> 公共施設の利用圏域によって、階層分類を設定したうえで、用途別施設の現状から、施設小分類別に課題を整理します。	
<b>第五章 公共施設適正配置の基本方針</b>	<b>【66 頁】</b>
<b>1. 公共施設適正配置に向けた基本的な考え方</b> 適正配置に向け、基本理念（めざす姿）を示します。	
<b>2. 公共施設適正配置に向けた基本方針体系図</b> 分析の視点をもとに、適正配置に向けた課題を整理し、基本方針について体系的に示します。	
<b>3. 公共施設適正配置の全体方針</b> 適正配置に向け、今後の基本的な考え方となる 5 つの全体方針を示します。	
<b>4. 用途別施設の適正配置方針</b> 全体方針に基づき、施設用途の小分類別に施設の考え方を示します。	
<b>資料編 用途別施設の状況</b>	<b>【82 頁】</b>
<b>1. 全市施設及び地域施設の状況の見方</b> 全市施設及び地域施設の状況の見方を解説しています。	
<b>2. 全市施設の状況</b> 全市施設に分類された施設について、小分類ごとに施設の状況を整理しています。	
<b>3. 地域施設の状況</b> 地域施設に分類された施設について、小分類ごとに施設の状況を整理しています。	

